

卒業生 300 人の住所 無断でコピー

「安本法反対署名を」 元教諭が要請の手紙

県立成田北高校

県立成田北高校（成田市）

を昨年三月に退職した六十台の元男性教諭が、在職中に無断でコピーした生徒の住所録データを使い、安全保障関連法に反対する署名を求める手紙と署名用紙を卒業生約三百人に郵送していたことが十九日、同校への取材でわかった。

高校側は「大変遺憾。生徒の個人情報取り扱いについて教職員らに指導を徹底したい」としている。

同校によると、元教諭は今年三月、担任として関わった

卒業生らに「安本法に反対する人に賛同いただきたい」などとする手紙を、署名の記入用紙を同封して郵送した。

卒業生の保護者から連絡があり、判明した。高校側が事情を聞いたところ、元教諭は「若い人に安本法について考えてほしかった」と話したという。住所録データは、在職中に高校のパソコンからUSBメモリーにコピーし、持ち出していた。同校はデータを既に削除させたとしている。